

臨床医学研究のお知らせ

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター病院では、将来の医療を向上させるため、聖路加国際病院と共同で臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1
電話：03-3202-7181
担当者の所属・氏名 呼吸器内科 泉 信有

【研究責任者】

呼吸器内科 泉 信有

【研究代表者】

聖路加国際病院 呼吸器内科 園田 匡史

ANCA 関連血管炎と診断された患者さんを対象とした肺生 検の有用性に関する研究

1.研究の対象

2015年1月1日から2024年8月31日にかけて、国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター病院にて臨床的にANCA関連血管炎が疑われて気管支鏡検査を施行した方

2.研究の目的・方法

現在ANCA関連血管炎のいずれ（多発血管炎性肉芽腫症、顕微鏡的多発血管炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症）の診断においても、必要かつ可能であれば組織学的証明を行うことが推奨されています。今回、国立国際医療センター病院および聖路加国際病院にて臨床的にANCA関連血管炎が疑われて気管支鏡検査を施行した方について調査することで、ANCA関連血管炎の診断のための気管支鏡検査を適切な症例を選択して施行することができるようにすることを目的としております。なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人 研究機関の長による実施許可後～2028年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、国立健康危機管理研究機構での実施許可日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、気管支鏡検査の施行歴、病理組織診の結果、カルテ番号等

4.外部への試料・情報の提供

代表機関へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で電子的な授受により行います。データと研究の対象の方との対応させた表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5.研究組織

【研究代表者】 聖路加国際病院 呼吸器内科 園田 匡史

【共同研究機関・研究責任者】 国立国際医療センター 呼吸器内科 泉 信有

【機関長】 国立国際医療センター 理事長 國土 典宏